

SSKP
はばたけだより
vol.125

夏祭り

～工房時・野むぎの家～



**ご来場の皆様
ありがとうございました!**

今年ではや3回目、両施設合同の夏祭り企画がやってまいりました。今年はアイスクリームの移動販売を迎え、模擬店やバンド演奏、屋上ビアガーデンなど盛りだくさんの内容になりました。

昨年に引き続き、ご出演を快諾いただいた「ピクリップ with 久住昌之」さんのライブは最高! おおぞら会のバンド「ルーキーズ」も出演し、ラストは大セッションでした。猛暑の中、利用者・職員だけでなく、ご家族やほのぼのネットの皆さん、はばたけの製品販売他、いろいろな方の助けをいただき、無事終了することができました。みなさん、ありがとうございました!

打ち上げにはピクリップのフクムラさまにご参加いただきました。利用者・職員・ボランティア・出演者、多彩な顔ぶれが参加する打ち上に、私たちならではの光景のように思います。生ビールうまかった〜。

焼き鳥は完売しましたが、飲み物が結構残ったり…次はもう少し集客に力を入れていけたらいいですね。お客さんも私たちも、楽しいお祭りをこれからも続けていきたいと思います。何はともあれ、お疲れ様でした〜!



社会福祉法人 おおぞら会

小規模多機能型居宅介護

野ざきの家



野ざきの家では、管理者 西田の退職に伴い、後任として6月より齋藤貴彦が担当させていただきます。今後ともいっそうのご支援ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

6月より管理者になりました齋藤貴彦です。まだまだ力不足の所がございますが一生懸命頑張っておりますのでこれからもよろしくお願い申し上げます。利用者さんにとって心地よい支援をみんなで考えながら実践し、今までの積み上げを大切にしながらお一人お一人に必要な支援をしていき「住み慣れた地域でいつまでも」を合言葉に職員一同力を合わせ頑張っております。

野ざきの家も開設して3年…あっという間の3年間だったと思います。まだまだ手探り状態ですが「野ざきの家」らしさを考えながら毎日を大切に支援・活動をしていきたいと思っております。

朝、利用者さんをお迎えに行くのですが、顔をみるとお互いに「言ってもしょうがないけど暑いですね!」というやりとりから始まります。この何気ない会話…「今を生活している」ことを実感できる会話だと思っております。当たり前前の想いを当たり前前に表現できることが「こんなにも大切なことなんだ」と。認知症の症状から上手く想いを伝えられなかったりすることが増えてきても我々は言葉だけでなく「表情」や「仕草」でも想いを感じ接することを心がけていかなくてはならないと思っております。五感を大切にして「その人らしさ」を尊重し関わっていきたくと思っております。

野ざきの夏 ①



今年も「足湯」前の庭に「ゴーヤ」を植えました。すくすく育ち「グリーンカーテン」に…との思いをこめ植えましたが…。育ち具合は…来年への宿題になりそうです。園芸が趣味の方もいらっしゃりアドバイスをいただいたのですが…。



野ざきの夏 ②



7月26日に工房時・野ざきの家夏まつりが今年も開催されました。ライブやアイス移動販売があったり今年も内容盛りだくさんで利用者さんと楽しいひとときを過ごせました。「夏まつり」の看板作りは今年も日々の活動の一環で行いました。色を塗ったり花飾りを作ったり、利用者さんお一人お一人が出来ることをそれぞれのペースでご協力していただきました。出来栄は…「キレイにできましたねー!」が皆さんの第一声でした。この看板に「お・も・て・な・し」の気持ちを込めて飾らせていただきました。ご来場していただいた方々にきっと伝わったと思っております。地域に認められ、必要とされる事業所であり続けるためにも「夏まつり」などのイベントは大切にしていきたいと改めて感じました。



みなさんで作った看板「お・も・て・な・し」の気持ちを込めて

サポートネットあすは &あすはKids

移動支援・居宅介護事業
放課後等デイサービス

自分でつくる休日

「サポートネットあすは」には様々なガイドヘルプの依頼が入ってきます。「プールに連れて行って欲しい」「遊園地に連れて行って欲しい」「映画を観に連れて行って欲しい」「カラオケに連れて行って欲しい」「スーパー銭湯に行ってお風呂に一書に入って欲しい」・・・そのほとんどが保護者、家族からの依頼です。そんな中、電話をかけてきたり、メールをしてきたりして、自分でガイドヘルプの依頼をしてくる人たちがいます。

Aさんはヘルパーさんと吉祥寺等で過ごすのを楽しみにしています。依頼はメールでしてきます。話すよりも文章にする方が自分の気持ちを伝えやすいように見えます。井の頭公園を散策したり、ランチを食べたり、「猫カフェ」に行くこともあります。外出の内容だけではなく、ヘルパーさんといっしょに過ごすことが彼女の楽しみであり、気持ちの安らぎにつながっているのだと思います。

Bさんはヘルパーとカラオケに行く依頼をしてきます。彼女はアイドルや俳優、テレビ番組のこと等とても詳しく話し好きです。Cさんもカラオケを楽しむのはもちろん、ヘルパーと雑談をする等、いっしょに過ごすことに意味があるのだと思います。

自分で依頼をしてくる人達は、日時、内容、待ち合わせ場所等を職員と相談しながら決めていきます。ガイドの当日はもちろん楽しいひと時ですが、職員と話し合いながら決めていく過程にも意味があると思います。休日の過ごし方を自分で決めていく経験は貴重だと考えています。



恒例！スイカ割り



8月3日(日)に「あすは夏祭り&ミニミニバザー」を開催しました。当日は数多くの方が来場し、大盛況でした。焼きそば、カレーライス、たこ焼き、かき氷、おからドーナツ、駄菓子屋、ヨーヨー釣り等の模擬店を出店しました。また毎年恒例のミニライブはヘルパーさん&あすは職員のバンド「マカオ」、「村石商店」に出演していただきました。「村石商店」は武蔵野市障害者センター内のパールブーケで定期的にコンサートを行っているベテラン夫婦デュオです。



夏祭りの締めはもちろんスイカ割り。利用者のご家族から大玉スイカを二つも差し入れていただきました。「スイカ割りやりたい人！」と聞くと「僕やりたい！」「私やりたい！」とたくさんの子供たち、また大人の方まで挙手していました(笑)。あつと言う間にスイカを割ることが出来、みんなまで食べました。同時開催したミニミニバザーでも26,590円の売り上げがありました。バザー一品を提供して下さった皆様、ありがとうございます。バザーの売り上げは、障害を持った方々の事業に使わせていただきます。これからも、地域で沢山の繋がりや輪をつくっていきたいと思います。

(管理者 立野信行)



～ 工房時 ニュース ～

就職決まりました!

ご本人へインタビュー!

IさんとYさん、お二人のご就職が決まりました～！
おめでとうございます！ では今のお気持ちを伺います。

★ Iさん …6月より 造園業者へ就職

僕の仕事は雑草取りや鶏への餌やりです。暑い中での作業は大変ですが、仕事のやり方が上手になり社長さんに褒めていただくとても嬉しいです。両親も喜んでくれました。

★ Yさん …9月より 郵便局ありがとうセンター就職

郵便局に就職が決まってとても嬉しいです。就職の前には面接の練習をたくさんしました。実習も一生懸命やりました。仕事をしていくためには、あいさつをする・時間を守る・ルールを守ることが大切だと思います。



～就労移行支援の担当職員から～
就職した2人の共通点は「まじめ」であることです。雇う側が最重要視するのは、まさにここです。我々の支援もこの点を強調してまいります。2人の今後の活躍を願っています。

就労移行支援からの就職 を考える

工房 時では、うどん店「おもむく食堂」の営業のほか、企業の見学・実習や面接トレーニング等を行っています。当初から就職を目標としていた方、時での活動を通じて就職への意欲が高まった方…働くことへの思いは個々に違います。個別支援と事業所単位の活動をどう組み立てるか？皆で知恵を出し合うなかで、私たちは就職自体がゴールではないと考え、就職後に継続・習熟していく「就労実績」をつくるのが就労移行支援事業の目的のひとつであると位置づけました。開設以来初めての就職者が生まれたことを、ご本人の努力と私たちの事業の成果として励みにしながら、これから先のことを思い描いていきます。今後、どんな思いが出てくるのか？…困難や悩みも出てくるかもしれません。新しい世界にご本人も私達もワクワクしながら、巡回訪問等の支援を通じて、就職した皆様の活躍する姿を見守りながら支えていきたいと思えます。賃金、やりがい…働くことの新たな喜びを得たお二人の笑顔は、他の利用者の方にもきっと良い刺激になると思えます。働く場所は変わりますが、これからもともに頑張っていきましょう！

目指せ、ボーナス 5 万円!?
- 工賃アップに向けて -

その後…

前号のはばただよりに掲載した、職場会議の議題「ボーナス5万円もらおう！」…その後どうなっているのでしょうか？ 先日の会議の様子を見てみましょう。

まずは、金額のイメージを固めます。「ぜんぶ千円札だと何枚もらえる?」「欲しいゲームがいくつ買えるかな?」お札のモデルを用意し、目で見てみました。それぞれのイメージが具体的になるほど、働くモチベーションも高まります。

『目標を立てる → 何をしたらそれを達成できるか?』

日々の仕事での頑張りが、ボーナスという結果になることをみんなが理解していくために一歩踏み出した、という所です。

～ お札が何枚分で 5万円? ～

- ・すごい数だな～!
- ・本当にこんなにももらえるの?
- ・たくさん作って売らないとダメだね…
- ・12月までに稼がないと!



アクティビティセンター はばたけ

【生活介護事業】



ご近所・地域が薄れたと言われる昨今ですが、ちょっと垣間見るだけでも地域には実にいろいろな活動をしていらっしゃるグループがあります。その腕前や培った技術は驚くほど本格的です。そして楽しくいきいきと活動されていてこちらにも元気をもらえます。

はばたけではそんな地域の皆さまを施設としてお招きしたり、またグループ活動ではコミュニティセンターや児童館の催しに参加するなど本物に触れる機会をつくとともに、地域の方々と交流の機会をつくっています。

三鷹阿波踊り…商工連さん



太鼓に三味線
もちろん踊りも
教えてくれました！

みんなキマツてます

レインボー ハーモニーさん

すてきな
ハモニカの調べを
聴かせていただきました



地域と交わる…ということは意外と難しいもので、街に暮らしていても意識をしていないとその日常は閉鎖的になっていきます。施設もまた、箱の中で完結してしまうと「家から送迎車で来て、施設で過ごして、また送迎車で家に帰る」生活となり、地域と断絶してしまいます。

そこに暮らす人々が声を交わし心を通わせる中で、気かけ合う関係ができる…それがきっと障がいのある人も高齢者も子育て世代もみんなが暮らしやすい地域ということなのでしょう。

だとすれば、私たち福祉施設は障がいを理解していただく機会や共に地域を育む関係づくりを、もっと率先して取り組まなくては…とあらためて思います。

(文責 入倉暁子)

つなぐなかまの家【介護サービス包括型グループホーム】



去る7月27日(日)つなぐなかまの家では、グループホーム恒例の誕生日会が行われました。

Happy Birthday!

当日は午後から天気が急変し、1時間ほどスコールのような雷雨に見舞われましたが、夕方にはすっかり雨も上がり、なかまの家入居者2名の合同誕生日会が17時よりめでたく開催されました。(共に7月生まれです!)

誕生日と言えばみんなが楽しみにしているのが、誕生日ケーキです!ケーキを作ってみるのも楽しいかなと気まぐれな世話人N(男)は思い立ち、主役のAさんに相談したところ、「作る!作りたい!」と、意欲的な発言をいただきました。ただし手作りとは言うものの…ケーキなど作ったこともなく、ましてやスポンジをふっくらとやわらかに仕上げるコツなど知るよしも無いわけで…スポンジだけは某ケーキ屋さんにて仕入れてまいりました。

生クリームを懸命に泡だて、汗だくになりながらホイップ状にしたところで、さあ!デコレーションの開始です!缶詰のパンやみかん、製菓売り場で見つけたもろもろの食材を散りばめて、完成!!



実はこのケーキ、スポンジの上面には色とりどりのマーブルチョコレートが敷きつめられていて、見ためはカラフルで楽しい印象なのですが、食べてみるとスポンジのやわらかな感触と共に、やたらとガリッ!ゴリッ!とするそれはそれは微妙な食感…

でも作っている最中は、ハイ!この笑顔です!雷雨の中、どしゃ降りに見舞われながらもスポンジケーキを買いに行った世話人N(男)の苦労もむくわれました!

世界で一つだけの誕生日ケーキをみんなに振る舞い、みんなも美味しい美味しい♪と大絶賛したかどうかは謎ですが…、楽しい!嬉しい!といった様々な経験を通して今年をふり返った時に、今回のケーキ作りが思い出のひとコマになっていたら良いなと思います。

入居者の皆さんは育った時代も環境も違う中、同じ空間で過ごしているので、時には相手の考えを受け入れられず意見が衝突したり、共同生活ゆえ自分の思う通りにならなかつたり、感情と感情がぶつかって涙があふれたりすることもあるけれど、それでも呼吸を合わせてなかまの家で暮らしています。

今年も残すところあと3ヶ月、毎日の暮らしの中でお互いに笑顔がたくさん引き出していけるように、過ごしていきたいと思えます!

(文責 南川雄造)



(メインディッシュはうな豚丼!)

おおぞら会後援会ニュース

夏祭り 開催!

まだまだ残暑厳しい毎日です。今年は日本各地で台風や大雨の被害が続きましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、今年も7月26日(土)に「工房時・野ざきの家夏祭り」を開催いたしました。忙しい毎日の業務の合間をぬって、職員の皆さんが一丸となって企画を立て準備に尽力され、当日は、ご家族の皆様、「ほのぼのネット」さんなど地域ボランティアの方々のご協力をいただきながら、たくさんの地域の方にお集まりいただき、利用者の方ともども楽しい1日となりました。

収支も、支出が107,551円、収入は120,521円となり、お陰をもちまして12,970円の利益をいただきました。ご協力くださいました皆様、ご来場くださいました皆様に心より感謝申し上げます。ますます地域に根差した施設でありますことを願っています。

社会福祉法人おおぞら会後援会 会長 吉野 壽夫

* 後援会へのご入会・ご更新をお願いいたします *

年会費 1口 個人…2000円 団体…10000円

年会費は、お手数ですが直接お持ちいただくか、下記の口座にお振込みください。

郵便口座 00160-0-39163 口座名義： 社会福祉法人おおぞら会後援会

★後援会新規ご入会・ご更新(敬称略)

個人182名、法人3社からご入会・ご更新の手続きをいただきました。ありがとうございました。

★後援会へ寄附(敬称略)

個人9名、団体1社からご寄付をいただきました。ありがとうございました。

★法人・各事業所・千人会へ寄附(敬称略)

個人24名、法人4社からご寄付をいただきました。ありがとうございました。

皆様 ありがとうございました。後援会費、ご寄付は大切に活用させていただきます。

(以上、4/1~8/12 途中集約分)

information



はばただより

秋まつり

10月18日(土) 11:00~15:30

ステージ

ミニバザー

もぎ店



会場：アクティビティセンターはばたけ

社会福祉法人おおぞら会

- ・アクティビティセンターはばたけ (生活介護事業) 三鷹市野崎 3-17-9 tel 0422-32-3234
- ・工房 時 (就労移行事業・就労継続B型) 三鷹市野崎 2-6-41 tel 0422-30-5571
- ・野さきの家 (小規模多機能型居宅介護事業) 三鷹市野崎 2-6-41 tel 0422-30-5575
- ・サポートネットあすは (移動支援[居宅介護]事業) 武蔵野市八幡町 1-6-1 tel 0422-36-5151
- ・あすは Kids (放課後等デイサービス) 武蔵野市八幡町 1-6-1 tel 0422-36-5151
- ・ショートステイさくら (短期入所事業) 三鷹市井の頭 4-22-6 tel 0422-32-3234
- ・つなぐなかまの家・さくらハイツ (介護サービス包括型 GH 事業) tel 0422-30-5571(本部)

ローカル線が好きで時々出かける。この夏休みに千葉まで乗りに行った。小さな駅には、地元の方が花壇を作っていたり、ベンチにはてづくりの座布団がそっと置いてあったり、列車の中にも折り紙の装飾や子どもたちの絵が飾ってあったりする。そんな人の息遣いが感じられる空間にほっとする。確かに駅舎もポロポロで人のいない駅もあり、乗っているお客さんも少ないのだが、学生や高齢の方には欠かせない交通手段だ。地方のローカル線はどこも経営難の問題を抱えており存続にも意見が賛否あるようだが、何よりその地域の風景になっている電車を大切にしたい思いがつながり、地元の方々や全国からの応援もあるようだ。なんだか私たち福祉の現場と構図が似ているな…と感じた。

(いりくらあきこ)

発行 障害者団体定期刊行物協会 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21 [頒価 50円]

企画・編集 社会福祉法人おおぞら会 編集責任者:入倉暁子